



# 文芸翻訳

について調べる



★ 関連授業科目

言語表現生態論

言語文化研究科

「Paste (ぱすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ラーニング・サポーター（LS）による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

# 1. イントロダクション

## 1-1. 「文芸翻訳」とは？

「翻訳」はグローバル化の進む現代社会において必要不可欠なものとなっている。そのなかで「文芸翻訳」とは一般的に小説、詩、戯曲、絵本といった文学作品を対象とする翻訳を指す。活字離れが社会的な問題となる一方で、「文学を翻訳する」という行為はさまざまな角度から注目を集めている。20世紀の後半ごろから、「翻訳」という作業が単にある言語から他の言語に情報を置き換えるという単調な作業ではないということが広く認識されるようになってきた。とくに「文芸翻訳」は、ことばによる芸術が伝えることを理解し、それを再表現するという点で、じつは非常にクリエイティブな作業でもあるのだという主張もある。さらに、「翻訳」という行為は、作品をとおしてその背後にある異文化を学ぶことにもつながっている。

このように「文芸翻訳」とは、狭い意味では物語や詩のことばを理解して再表現する作業であり、広い意味では異文化や他者とのコミュニケーションのひとつのかたちでもある。こうしたダイナミックな表現形式として「文芸翻訳」はグローバル化の中でそのプレゼンスを高めている。

## 1-2. 学習するにあたってのポイント

「文芸翻訳」を学ぶ際に必要なアプローチを、ここでは【実践】と【理論】に区分する。翻訳の技術を高めることを目指すなら、【実践】を勧める。翻訳を色々な視点から学ぶ場合は、【理論】を勧める。

【実践】では、著名な翻訳者のことばや、彼らの語る文芸翻訳のコツや楽しさなどにふれながら、「実際に文学作品を外国語から日本語に翻訳するとき、どうすればよい翻訳ができるのか？」「よい翻訳とは？」「誤訳とは？」といった問題を考えることが目的となる。

【理論】では、近年ますます体系化が進む「翻訳学」という学問分野に沿って、翻訳の歴史の変遷や異文化コミュニケーション的意義、作家と翻訳の関係などをさまざまな議論に触れていくことが目的となる。

【実践】と【理論】は完全に分けられるものではない。あなたが作品を翻訳するとき、【理論】に触れてみると、翻訳の幅はぐっと広がるだろうし、あるいは翻訳を頭だけで理解しようとして行き詰ったときには、実際に翻訳したり、優れた翻訳者の声に耳を傾けたりすることは非常に大切な作業となる。ここでは便宜上【実践】と【理論】にカテゴライズするが、それぞれのアプローチから「文芸翻訳」を学んでみることを勧める。

## 1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

### ■ 文芸翻訳入門: 言葉を紡ぎ直す人たち、世界を紡ぎ直す言葉たち / 藤井光編

【実践】文芸翻訳の最前線で活躍する翻訳家たちが、翻訳の疑問やテクニックについて語る。著者の顔触れの豪華さと内容の分かりやすさから、楽しい翻訳の世界への第一歩として非常におすすめの一冊。

【書誌 ID=2004422015】総合図-A棟 3/4階 学習用図書 904/FUJ

## 2. 学習用資料

### 2-1. 手元にあると便利な事典・ハンドブック 類

- Routledge encyclopedia of translation studies / edited by Mona Baker and Gabriela Saldanha

【実践】【理論】 アルファベット順に翻訳のキーワードを並べて解説している。翻訳にまつわるキーワードを網羅的に取り上げて、簡単な解説を加えている。基本的な知識を押さえるときに役に立つ一冊。

【書誌 ID=2004087886】 総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.7/BAK

- 翻訳研究のキーワード / モナ・ベイカー, ガブリエラ・サルダーニャ編 ; 藤濤文子監修・編訳 ; 伊原紀子, 田辺希久子訳

【実践】【理論】 上記 *Routledge Encyclopedia of Translation Studies* の第 2 版を部分的に抜粋し、翻訳したものとなっている。

【書誌 ID=2004304616】 総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.7/BAK

### 2-2. 入門として最初に読むべき資料

- 翻訳を学ぶ人のために / 安西徹雄, 井上健, 小林章夫編

【実践】【理論】 翻訳が、実務にとどまらないクリエイティブな作業であるという認識のもと、翻訳を考える際のいくつかの主要なアプローチが分かりやすくまとめられている。入門にぴったりな一冊。

【書誌 ID=2003706268】 総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.7/ANZ

- 翻訳理論の探求 / アンソニー・ピム [著]; 武田珂代子訳

【理論】 西洋の翻訳理論を中心に、言語を焦点とした古典的な翻訳論から文化的要素を中心とする現代的な理論モデルまで、幅広く取り上げる。翻訳理論の全体像を学ぶ際の教科書的な一冊。

【書誌 ID=2004160034】 総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.7/PYM

- 翻訳学入門 / ジェレミー・マンデイ [著]

【理論】 近年の翻訳分野の主要研究が分かりやすくまとめられており、世界中の翻訳コースでも広く使用されている。文芸翻訳にとどまらず、翻訳学を体系的に学びたい人にとって欠かせない一冊。

【書誌 ID=2004112037】 総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.7/MUN

### 2-3. 文芸翻訳者を目指す人へ

- 翻訳教室 / 柴田元幸著

【実践】 著者である柴田元幸は、アメリカ文学研究者であると同時に、長らく小説家村上春樹の翻訳のパートナーを務めてきたことでも知られている。本書は入門的な一冊であると同時に、原文の綿密な読解や、英語を日本語に移し替える際のポイントや注意点がそこかしこで言及されている。文芸翻訳者を目指すなら一度は手に取ってみるべき本である。

【書誌 ID=2003702244】 総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.7/SHI

## ■ 翻訳家の仕事 / 岩波書店編集部編

【実践】 雑誌『図書』にて「だから翻訳はおもしろい」というタイトルのもと、2003年5月から2006年5月までの計37回にわたって掲載された、さまざまな翻訳家によるエッセイがまとめられている。翻訳の「おもしろさ」を中心に、それぞれの翻訳者の喜びや苦労を読むことができるので、文芸翻訳者の実像を実感できる。

【書誌 ID=2003710017】 総合図-A 棟3階 文庫・新書 089/IS/R1057

## ■ 文芸翻訳検定 (<http://bungeihonyaku.com/>)

【実践】 一般社団法人文芸翻訳検定協会によって運営されている Web サイト。文芸翻訳者を目指すときに、資格というのは必ずしも重要なものではない。また逆に、資格を持っているからといって文芸翻訳者になれるわけでもない。しかし、たとえば自分の翻訳力がどれくらいのものか腕試しをしたとき、あるいは文芸翻訳がどのようなものかを体験したいとき、本検定をうまく活用できるにちがいない。

## 2-4. 作家と翻訳の関係を知りたい人へ

---

### ■ 翻訳夜話 / 村上春樹, 柴田元幸著

【実践】 世界的な小説家であり、熱心な翻訳家でもある村上春樹と、柴田元幸による3つの翻訳談義をまとめた一冊。体系的な翻訳論ではなく、翻訳の動機や姿勢が中心的に語られながら、村上春樹にとっての翻訳のあり方が垣間見える。翻訳について楽しく読めるという点でもおすすめの一冊。

【書誌 ID=2003709247】 総合図-A 棟3/4階 学習用図書 801.7/MUR

### ■ 文豪の翻訳力：近現代日本の作家翻訳：谷崎潤一郎から村上春樹まで / 井上健著

【理論】 日本文学において、作家による翻訳とはどのような意味を持ってきたのか？ 本書は、このような問いを手掛かりとして大正期から戦後に至るまでの「作家翻訳」を様々な視点から分析、考察した一冊となっている。

【書誌 ID=2004225050】 総合図-A 棟3/4階 学習用図書 910.26/INO

### ■ 翻訳文学の視界：近現代日本文化の変容と翻訳 / 井上健編

【理論】 本書に収められた11の論文は、近現代の日本文学が「同時代の翻訳といかに密接なかかわりを持ってきたか」というテーマのもとで分析、考察を行ったものとなっている。関心のある論文を拾い読みすることを勧める。

【書誌 ID=2004226011】 総合図-書庫 904/INO

## 2-5. 翻訳の歴史を知りたい人へ

---

### ■ 翻訳：その歴史・理論・展望 / ミカエル・ウスティノフ著；服部雄一郎訳

【理論】 古代から現代にいたる翻訳の歴史をいくつかのテーマから捉えている。単純な時系列で追うのではなくテーマごとの考察になっているので、すこし読みにくいかもしれないが、古典的な文献への言及を怠っていないので、入門としてだけでなく発展的な学習にも活用することができる。

【書誌 ID=2004086693】 総合図-A 棟3階 文庫・新書 089/BK/930

- 日本の翻訳論：アンソロジーと解題 / 柳父章, 水野的, 長沼美香子編 ; コックリル浩子 [ほか執筆]

【理論】 明治初頭(1873)から戦時中(1944)に至るまでの日本の小説家、批評家らによる翻訳論を時系列にまとめ、それぞれに簡潔な解説を添えている。70年間という限られた時期ではありながらも、日本の翻訳の歴史において重要な時期の主要なテキストが収められているため、日本における初期の翻訳論の変遷を概観する際に助けとなる一冊。

【書誌 ID=2004171545】 総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.7/YAB

## 2-6. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

- 翻訳の時代：ベンヤミン「翻訳者の使命」註解 / アントワーヌ・ベルマン [著] ; 岸正樹訳  
【理論】 ヴァルター・ベンヤミンは 20 世紀の著名な思想家のひとりであり、翻訳について数々のテキストを遺してきた。本書は、ベンヤミンの翻訳に関する論考のひとつ「翻訳者の使命」を解説する。ベンヤミンのテキストそのものが難しいうえに、本書の内容も、分かりやすいとはいいがたい。しかし「翻訳者の使命」は 20 世紀以降の翻訳理論にとっての基礎的な論考のひとつなので、その一端に触れるという意味で手に取ってみるといいだろう。

【書誌 ID=2004307020】 総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 801.7/BER

- 翻訳の世界 / 日本翻訳家養成センター

【実践】【理論】 翻訳に関する膨大な情報がつまった雑誌。エッセイから書評、翻訳の実践法まで幅広い内容を扱っている。気になる号を手にとってみれば、翻訳の世界を垣間見てみることにちがいない。

【書誌 ID=3001031259】 総合図-自動書庫

## 3. レポート・論文執筆用資料

### 3-1. 有用な検索キーワード

- ◆ 主要キーワード: 文芸翻訳/翻訳研究/翻訳学/翻訳論/Translation Studies
- ◆ 関連キーワード: 字幕翻訳/吹き替え翻訳/映像翻訳/映画翻訳/通訳/機械翻訳
- ◆ 補助キーワード: 小説/詩/絵本/映画/戯曲

### 3-2. 最新情報が確認できる資料: 主要雑誌・年鑑・Web ページ

- 日本通訳翻訳学会(JAITS) (<http://jaitsjpn.org/home/>)  
その名の通り日本における翻訳、通訳に関する学会。翻訳だけでなく、通訳、字幕などを研究対象として活動する学会。
- 通訳翻訳研究 / 日本通訳翻訳学会  
日本通訳翻訳学会(JAITS)が出版する学会誌。上記の学会 Web サイトにて、2000 年度発行の創刊号から刊行後 2 年を経過した号まで無償で閲覧可能。

#### 本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

テーマ別調べ方ガイド

